





家族看護学紙上事例展開 グループワーク




2009.6.19,26



浅野 みどり・田辺圭子・會田信子



6月19日のスケジュール

- 
- 8:45～9:10 オリエンテーション
演習の用紙配布, 出席確認
展開事例の決定

各Gの司会・発表者の決定

- 
- 9:10～12:00 グループワーク
 - * 次週の事例展開のグループ発表に向けて、紙上事例のアセスメントを行う。
活発なグループ内討議を期待します。
 - * GW時間内は必要に応じて図書室等で資料を探すことは構いません。
- 



6月26日のスケジュール

- 8:45～9:00 質疑(共有)
- 9:00～10:00 グループワーク仕上げ
- 10:00～11:45 グループ発表
質疑応答含み、1Gあたり8分
* 発表時間は5分以内
- 11:45～12:00 まとめ
 - * 問題の全体像をどう捉えたか？看護目標(家族のゴール)をどう定めたか？を中心に、アセスメントやグループ討議のプロセスを含めて発表してください。
 - * OHCで記録用紙を表示しながら、発表してください。

事例展開にあたって(1)

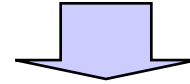
- 1G=7-8名で、全体を12G編成とします。
- グループで選択した事例ひとつについて、記録用紙1式を提出してください(26日)。
- 配布物について
 - 記録用紙; A4 3枚 グループ1部
 - 事例; A, B

記録用紙の末尾にグループメンバーの氏名を記載してください。

* GW・討議に参加した方の氏名を書くこと。

事例展開にあたって(2)

- 紙上の家族事例なので、項目によって不足する情報がたくさんあると思います。



適切なアセスメント・ケア提供にあたって、**早期に追加収集が必要と考える情報**を現時点で重要度・優先度の高い情報について、**できるだけ具体的にあげる**こと。

- 家族の強みを発想豊かに見つける。
- メンバーそれぞれの役割やゴールを考えてみる
- ケア計画は、柔軟かつflexibleに！
- グループ内での活発な討議が上記の課題・留意点につながると思います。

グループワーク: 発表と質疑応答



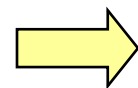
発表(5分)	質疑(3分)	発表(5分)	質疑(3分)
1G	12G	7G	1G
2G	11G	8G	2G
3G	10G	9G	3G
4G	9G	10G	4G
5G	8G	11G	5G
6G	7G	12G	6G

- ※各グループの発表は、質疑応答を含んで8分です。
効率良く発表できるように、発表者を決めておく。
- ※小さな疑問でよいので、積極的に質問してください。
必ずしも“正解”というものは見つからないかもしれませんが、活発な討議を期待しています。

何をアセスメントし、どのような援助が提供できるのだろうか？

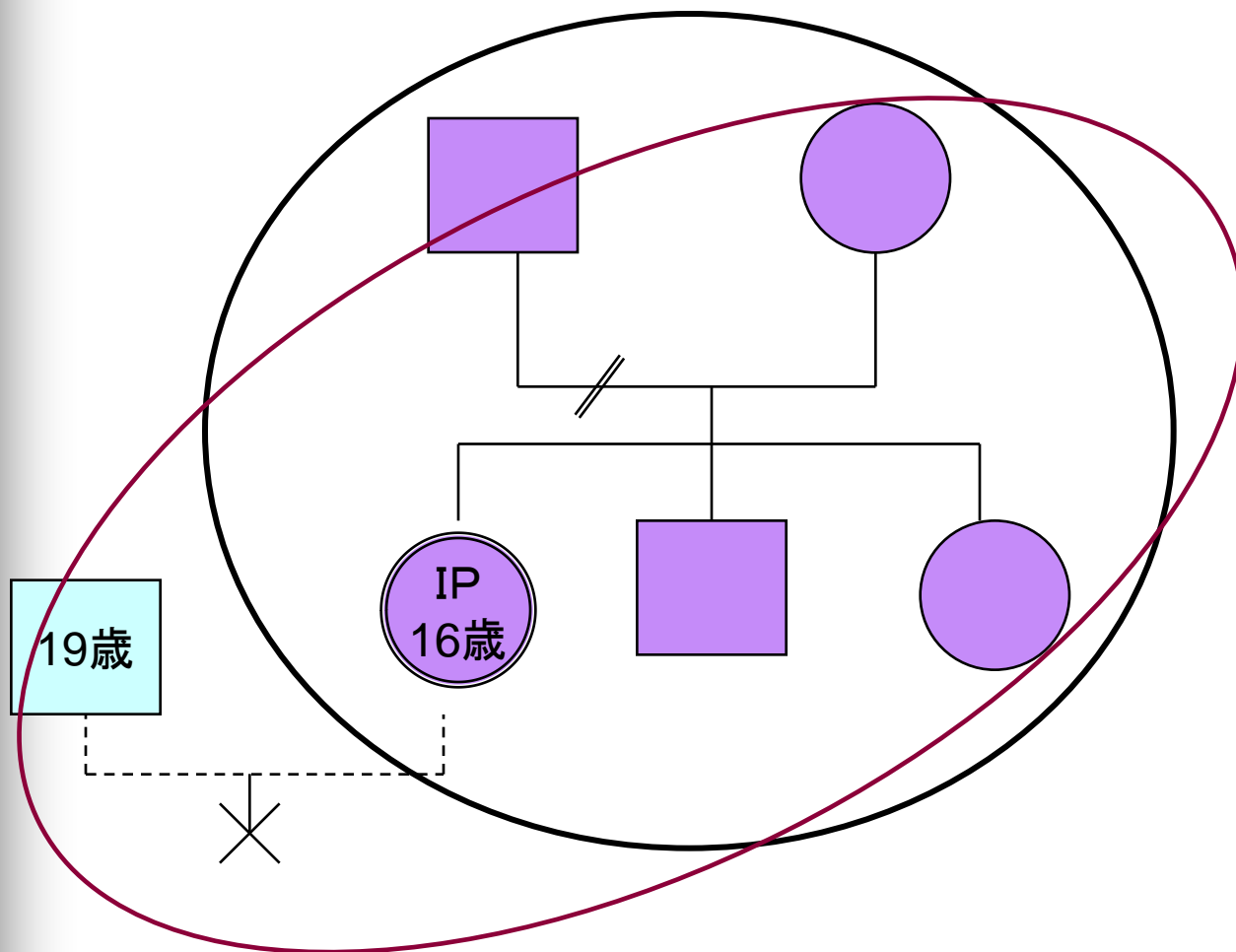
家族アセスメントのおもな領域

- ① 対象と家族のプロフィール
- ② 家族の発達段階
- ③ 対象と家族の健康歴
- ④ 対象のフィジカルアセスメント
- ⑤ 環境的データ
- ⑥ 家族構造
役割構造, コミュニケーションパターン etc.
- ⑦ 家族ストレスとコーピング






家族の看護診断, 看護目標

- ① 家族の発達段階と発達課題を知る
- ② ジェノグラム, エコマップを描いてみよう





家族アセスメントの視点

- 家族の発達段階とHistory
 - 家族の発達課題
 - Step Family*において配慮すべき点は？
 - 家族の構造と機能, 家族システム
 - ex. 家族のコミュニケーションは？
 - 家族のストレス・コーピング・適応
 - 家族の強み
 - 家族のゴール
 - 家族支援の具体的アプローチ(strategies)
- 
- 
- 

家族看護学課題レポート

- 紙上事例検討のグループワークを経験して、

①学んだ成果(気づいたこと, 感じたことなど)

②難しかったこと

上記2点について、A4版2枚以内にまとめ、学生番号・氏名を明記のうえ、提出する。

- 提出期限; 7月13日(月)17時
- 提出先; 学務レポートボックス